

シニア団体活動支援事業は、元気な高齢者が地域の活動に参加するきっかけをつくり、高齢者の社会参加と自主的活動を促進し、高齢者の生きがいと健康づくりを目的としております。この広報誌では、年齢を感じさせず、いきいきと活動している本事業登録団体をご紹介します。

野馬追相撲甚句会

活動エリア	相双地区	構成	男性
市町村	南相馬市	年齢	23名
電話番号・FAX メールアドレス等	TEL0244-23-3096	構成	女性
活動内容	相撲甚句、伝統文化の継承	年齢	3名
相撲甚句、伝統文化の継承		構成	計
活動日時	毎月第2・4木曜日 18時30分～20時30分 (変更有)	年齢	26名
会費	会費は無し。費用は必要に応じて	年齢	

〈熱心な指導で練習に励む〉

野馬追相撲甚句会は、故福田永昌氏（大相撲元二役呼出）より、正統な相撲甚句を後世に伝えることを目的に、会の立上げ依頼を受け、平成9年に発足した。現在は、南相馬市高平学習センターにて、会長門馬秀夫氏の熱心な指導の下、発声やリズム、間の取り方などの練習に励んでいる。相撲が盛んな土地柄もあり、地元神社のお祭りや文化祭などで披露することもある。

〈後世に広めていくことが使命〉

相撲甚句は相撲の発展とともに300年以上の歴史がある。音符などは無く歌詞のみで、抑揚は全て口伝えだ。わびさび、情緒が含まれるのを哀調と呼び、「哀調を極めるのが難しいからこそ、魅力がある。」と会長は話す。さらに「甚句会を継承させる意義は、極めて大きい。国技相撲に側面から寄添い築かれた文化であり、後世に伝承する使命は重い。命ある限り続ける」と覚悟を語った。入会問合せは、会長まで。



会長の門馬秀夫氏。「最初は誰もが初心者。徐々に覚えれば大丈夫です。」



定例練習会の様子。順番に甚句を唄い、他の人は「どすこい、どすこい」の合いの手を入れる。



第20回福島県社会福祉大会では、相撲甚句を披露。イベント出演も多数。

語句説明

※相撲甚句…地方巡業などの取組前に、土俵上の力士が輪になり一人が独唱、周囲が合いの手を入れる七五調の囃し歌。

アート・D・P

活動エリア	県中地区	構成	男性
市町村	須賀川市	年齢	1名
電話番号・FAX メールアドレス等	TEL0248-67-3057	構成	女性
活動内容	アート・D・Pはツールペイントの作品を制作しているサークルで、平成15年に発足。当時須賀川市中央公民館で開催した「ツールペイント無料体験講座」がきっかけとなり、受講生をメンバーとするサークルを立ち上げ、今年で活動12年となる。現在は、喫茶店「セピア・バード」を借り丁寧に指導の下、みんなで楽しく思い思いの作品を制作している。	年齢	4名
アート・D・Pはツールペイントの作品を制作しているサークルで、平成15年に発足。当時須賀川市中央公民館で開催した「ツールペイント無料体験講座」がきっかけとなり、受講生をメンバーとするサークルを立ち上げ、今年で活動12年となる。現在は、喫茶店「セピア・バード」を借り丁寧に指導の下、みんなで楽しく思い思いの作品を制作している。		構成	計
活動日時	毎月第2・4火曜日 14時～16時(変更有)	年齢	5名
会費	月会費約3,000円(材料費等)	年齢	

〈丁寧に指導で楽しく作品作り〉

指導者の有芽はるか氏は、「身近な生活に使える物で手軽に芸術を楽しめます」と話す。絵に自信がなくても図柄を転写し、アクリル絵の具で描けば簡単だ。作品の持ち込みも自由で、個人に合わせて指導も丁寧だ。体験見学も歓迎とのこと。会長の内山ケイ氏は「一人でも制作できますが、他の作品を見ることで会話も生まれ、メンバーで楽しく活動しています」と話す。今後も地区の文化祭等に出席することを目標に、活動が続けたいと抱負を伺った。入会問合せは、会長まで。

〈ツールペイントの魅力〉

制作作品の一部。木製以外にも陶器や布製などにも作品は多彩。



制作作品の一部。木製以外にも陶器や布製などにも作品は多彩。

語句説明

※ツールペイント…家具などの木製品に絵具で絵を描く手芸。現在では陶器、ガラス、布など様々な素材に描かれている。



制作の進み具合に合わせて、丁寧に指導。



会長の内山ケイ氏。「好きなことをするとストレス解消になります。」

伝統芸能南京玉すだれ 楽笑一門 神田会 福島県 須賀川支部

活動エリア	県中地区
市町村	須賀川市
電話番号・FAX メールアドレス等	TEL 0248-75-2735
活動内容	南京玉すだれ、ボランティア活動
構成	年齢 50代〜70代中心
内容	男性 1名 女性 7名 計 8名
活動日時	毎月第2・4月曜日 13時30分〜15時頃
会費	月2,000円

〈お祝いごとに華を添える余興〉

伝統芸能南京玉すだれ 楽笑一門 神田会 福島県 須賀川支部は、平成23年6月に、郡山の団体から独立し、須賀川支部として発足。代表羽生浄治氏の指導の下、会員同士和気あいあいと楽しく練習に励んでいる。お祝い事に呼ばれることが多く、敬老会や還暦祝いなど年10回程ステージに立ち、暖かな拍手と笑顔が会場内を包んでいる。

〈お客様が楽しめる演目を目指す〉

南京玉すだれは、南京とつくが日本発祥の江戸時代から続く伝統芸能。すだれの技もさることながら、ポイントは技に合わせて発する口上。客層や披露する場所に合わせ、同じ技でも口上を変えるそう。会員の方は、「技と口上を同時に覚えるのは大変だけど、観客の笑顔を見るのがとても嬉しい」と笑顔で答えてくれた。

より多くの人に南京玉すだれの魅力を知ってほしいとの熱意から、若い人向けの夜間講座の開設も検討中。入会問合せは、会長まで。



昨年8月、須賀川市市民活動サポートセンター主催イベントでのステージ発表の様子。



代表の羽生浄治氏。「すだれと扇子があれば、練習できます。難しくないので、気軽に練習したい」



和気あいあいと楽しく練習に取り組んでいる。

東ヨーガ愛好会

活動エリア	県中地区
市町村	須賀川市
電話番号・FAX メールアドレス等	TEL 0248-79-3301
活動内容	ヨーガ
構成	年齢 60代〜83歳
内容	男性 0名 女性 42名 計 42名
活動日時	毎週水曜日 13時30分〜15時
会費	月1,500円

〈活動歴は30年以上〉

東ヨーガ愛好会は、須賀川市東公民館で30年以上に渡り、伝統的なヨーガを行ってきた愛好会。ヨーガ指導者、根本由美子氏の指導の下、「日常生活に取り入れられるヨーガ」をテーマに、会員同士楽しく取り組んでいる。その魅力に惹かれ、長年参加している会員も多い。

〈ヨーガは体と心の調子を整える〉

まずは下半身から上半身、指先から頭皮に到るまで全身丁寧なマッサージを行い、ポーズに移行する。各自できる範囲で無理なく

取り組むこととしており、途中休憩も自由。ヨーガの後は、入浴後のように体が温まり、肩こり、腕、膝、腰の痛み、姿勢の改善など、心身の回復を実感している会員が多く、個人で取り組めることも魅力だそう。時折行う、2人1組のヨーガマッサージも楽しみにしているそう。

現会長の安田雅子氏は「今後もヨーガを通して健康に気を付け、会の活動を継続していきたい」と抱負を語った。



参加者がそれぞれ自分のペースで、ヨーガに取り組んでいる。



時折、2人1組になり、ヨーガマッサージを行うこともある。



現在の指導者、根本由美子氏（写真右）。「体が不調の時こそ、ヨーガで調子を整えるよう指導しています。」この会に28年参加している戸田勝子氏（写真左）。「集団演技と違い、個人で気楽に取り組めるのが魅力です。」

シニア団体活動支援事業の登録団体を募集しております —いいきと活躍するシニアサークル・団体の登録をお待ちしております—

●活動紹介してみませんか？

いいきと活動している県内のサークルや団体の活動状況を本会ウェブサイトや本チラシでご紹介します。

●対象となるのは？

シニア世代が中心となって活動されているサークル・団体様（年齢構成、活動内容、法人格の有無は問いません）

●参加方法は？

この事業は登録制で、登録は無料です。年度途中からの参加も可能です。登録のご案内やご不明な点がある場合は、本会に直接お問合せ下さい。

●発行元・問合せ先 福島県社会福祉協議会 いいき長寿課
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地 福島県総合社会福祉センター3階
TEL (024) 524-2224 FAX (024) 524-2228